

令和3年度 山梨県立巨摩高等学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

山梨県立巨摩高等学校校長 横森 伸司

学校目標・経営方針	高い志と挑戦する気概を持ち、何事にも主体的に取り組む生徒を育成する。
-----------	------------------------------------

本年度の重点目標	1 自ら学び、自ら考える態度を育成する「巨摩スタイル」を実践し、確かな学力の育成と向上に努める。
	2 自主・自立の精神とコミュニケーション能力を培い、調和のとれた人格の育成に努める。
	3 個に応じた進路指導の充実を目指すとともに、部活動をはじめとする特別活動やボランティア活動のさらなる活性化を図る。
	4 生徒の一生懸命な取り組みを評価、支援し、誇りと感動をもって学校生活を営めるような指導に努める。

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価			
本年度の重点目標		年度末評価(2月7日現在)	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標
1	生徒の確かな学力の育成と向上のため、「巨摩スタイル」の確立を目指す取り組みを強化する。	主体的・対話的で深い学びの実現と業務改善を目指したICTの活用を推進するため、ICT支援員のサポートのもとスキルアップに努める。	管理職授業参観票 相互授業参観票
		改めて「巨摩スタイル」の内容を精査・具体化し、全教職員の共通理解のもと授業を実践し、生徒の確かな学力の育成と向上を図る。	学校評価アンケート 授業評価アンケート
		生徒の授業評価を適切にフィードバックし、授業力の向上を図るとともに、生徒の実態に合った授業改善を行う。	授業評価アンケート
		面談等を通して、家庭学習時間や学習方法について個に応じた指導助言を行う。	学習時間調査 スタディ・サポート
2	理数創造コースを中心とした理科学教育活動を学校全体で推進し、課題を自ら発見できる生徒を育成する。	理数創造コースを中心に、キャリアビジョン支援事業となった地域交流事業を企画運営し、主体性とコミュニケーション能力の向上を図る。	行事参加者アンケート 学校評価アンケート
		地域に根差した交流事業とするために、全職員で企画運営に当たり、行事の成功につなげる。	学校評価アンケート
		総合的な探究の時間などを利用し、自ら課題を見つけさせ、その成果を学校内外に積極的に発信させる。	行事参加者アンケート 学校評価アンケート
3	進路目標実現のため、教科・学年・分掌が協調しながら、一丸となって指導を推進する。	生徒一人一人が高い目標をもち、その実現に向けて切磋琢磨できる学習環境を整える。	授業評価アンケート 進路実績
		生徒の自己肯定感を高められようような指導を行い、学校生活や進路の目標設定を適切に行えるよう指導する。	学校評価アンケート 進路希望調査
		教師が率先垂範することで、生徒との人間関係を構築し、学校生活全般において適切な指導助言を行う。	学校評価アンケート
4	部活動などの特別活動において、生徒が自己肯定感、充実感を持てるような指導を実践する。	部活動や学校行事に積極的に参加させることで様々な体験をさせ、充実感や達成感を得られるような活動を推進する。	学校行事アンケート 学校評価アンケート
		ボランティア活動などに意欲的に参加させ、視野を広げるとともに調和のとれた人格の育成を図る。	学校行事アンケート 学校評価アンケート
		メンタルヘルスケアや特別支援教育について、教職員の共通理解のもと相談体制の充実を図る。	学校評価アンケート
		部活動活性化と教職員の負担軽減のため、部活動外部指導者の活用を進めていく。	学校評価アンケート
5	本校の特色や活動の成果を、あらゆる機会を通じて地域に発信・紹介し、信頼される学校づくりに努める。	学校説明会やオープンスクール等で中学生に本校の良さをアピールするとともに、学校案内や巨摩高だより、HPを通して日頃の活動を広報する。	行事参加者アンケート 学校評価アンケート
		部活動を中心とした地域貢献事業を推進する。	行事参加者アンケート 学校評価アンケート
		地域や家庭と連携・協力し、防災教育・安全教育を実践する。	学校評価アンケート

学校関係者評価	
実施日 (令和4年2月10日)	
評価	意見・要望等
3	・コロナ禍をきっかけに前倒しとなった一人一台PCやICTの活用、さらに新学習指導要領実施に伴う新しい評価などを有機的に行い、独自色のある「巨摩スタイル」を確立してほしい。
3	・「わくわくサイエンスin巨摩高」がコロナ禍の良いタイミングで実施できたのは良かった。地方創生の観点からSDGSを踏まえて課題解決に向けた探求活動は素晴らしいので、市への提言等を行ったらどうか。 ・小中学生を対象とした広報活動とともに、卒業生も多数いる市内全般を対象とした広報活動も必要なジャンルだと思う。
4	・生徒と教師の信頼関係、カウンセリングマインド等により、進路意識の高揚が図られているのはとてもよい。 ・生徒が能動的に進路相談などできていない傾向があるので、教職員からの積極的なアプローチが求められる。 ・一斉調査をするときだけでなく、日常でもいじめをキャッチできる環境づくりを心がけてほしい。
3	・コロナ禍で制約はあったものの様々な部活動が実施されており、成果も出ている。 ・保健室が大きな役割を果たしているのは素晴らしいが、個人の力量ではなく、組織としての機能が受け継がれていくようにしてほしい。 ・入学してよかったというアンケート結果の数値が上がっていることから、授業や学校行事が生徒の満足できるレベルにあり、成果が上がっていると思う。
3	・コロナ禍であつてもいろいろ工夫しながら教育活動を実施していることに感謝。 ・バイク通学者は減っているが交通事故は減っていない。事故の根絶に向けて、繰り返し指導をお願いしたい。

留意点 (1) 重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2) 学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。